

2022年3月18日

各 位

株式会社 北海道銀行

ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）の契約締結について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（代表取締役頭取 兼間 祐二）は、株式会社風の杜いしかり（札幌市中央区、代表取締役社長 鈴木 亨）に対し、同社が実施する北海道石狩市での風力発電所プロジェクトに係る融資を「ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）」※1として組成しましたのでお知らせいたします。

※1 [2021年9月16日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

記

1. グリーンローンについて

国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金使途がグリーンプロジェクトの充当に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じて透明性が確保される等の特徴を有しております。

2. 本件ローンの概要

契約締結日	2022年3月18日（金）
借入人	株式会社風の杜いしかり（株式会社市民風力発電100%出資）
組成金額	855百万円
資金使途	北海道石狩市における風力発電所の開発費用
貸付人	北海道銀行

株式会社風の杜いしかり（以下、風の杜いしかり）は、株式会社市民風力発電（札幌市中央区、代表取締役社長 鈴木 亨（以下、市民風力発電））が100%出資し設立した風力発電所を運営するための会社です。

調達資金は風力発電所（最大出力1,650kW）の開発費用に全額充当され、風力発電設備の建設・運営を通じて、再生可能エネルギーである風力を利用した電力を発電することでCO2排出量削減を企図しています。

市民風力発電は「グリーンな電気をつくりたい」という想いを実現するため、2001年に設立されました。地域性と専門性を生かし、風力発電事業の企画立案・調査・コンサルティングから、地域や一般市民の出資参加とプロジェクトファイナンスの融合によるファイナンススキーム、事業主体との業務委託契約に基づく風力発電設備のオペレーションおよび保守メンテナンス事業、発電所の運営管理まで一貫して行っております※2。

2022年1月末現在、運営および運転保守管理している風力発電所は、25発電所、43基、設備容量は95.2MW。環境理念として「未来は、風と共に変えられる」を掲げ、市民風力発電が出資および運営管理している全風力発電所におけるCO2排出削減量を2030年に約500,000t-CO2にすることを目標としています（2020年度実績：106,769t-CO2）。

※2 [株式会社市民風力発電ホームページ 参照](#)

<風の杜いしかり 風力発電所概要>



※赤点は風況観測地、風車建設地は3点の内、左点周辺



※建設中の風車外観

なお、本件は、ローン・マーケット協会（LMA）「グリーンローン原則 2021」および環境省「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」との適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、セカンドオピニオンを取得しております。

3. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 コンサルティング営業部 山内 TEL 011-233-1069
広報CSR室 小山 TEL 011-233-1005